

ハロートレーニング 説明会

ハロートレーニングでスキルアップ

令和7年

8月13日
14:00~15:00 水

会場

石垣地方合同庁舎3階 大会議室
(ハローワーク八重山入居建物となります)

定員

20名(事前予約制)

お申込み
お問合せ

ハローワーク八重山
☎0980-82-2327
石垣市登野城55-4(石垣地方合同庁舎1階)

対象者・申込みなど

対象者：知識・技能・技術を習得し、就職を目指す方
内 容：ハロートレーニングカリキュラムについて
雇用保険、給付金関係について

本セミナーは、雇用保険受給資格者の **求職活動実績** となります。
セミナー当日は、「失業認定申告書」をご持参ください。

気になる方は
まずは説明会に
ご参加ください



今回のご案内訓練は

令和7年度沖縄県委託訓練 10月開講

「介護福祉士実務者研修パソコン科」

《ハロトレの期間》 令和7年10月1日～令和8年3月31日

◆介護従事者としての職業倫理と、幅広い知識・技能を修得する為に専門の講師からの的確な指導を受けることで、基本から応用までのスキルを身に付け、介護業界で活躍できる人材を育成する。

※このハロトレを受けることで、「介護福祉士実務者研修」を修了することができます。

《募集期間》 令和7年8月1日～令和7年8月25日

お申し込みには窓口での相談が必要です。相談締切日：令和7年8月22日



※ハロトレとは、公的職業訓練の愛称「ハロートレーニング」の略。受講料無料で、就職に役に立つスキル・知識を習得できます！

暴風警報等が発令された場合は、中止となることがあります。あらかじめご了承ください。



沖縄労働局 ハローワーク八重山 協力：株式会社PCワールド(訓練実施施設)

10月開講 受講生募集

介護福祉士実務者研修パソコン科

令和7年度 沖縄県委託訓練

定員15名 (一般)

募集
期間

8月 1日(金)～
25日(月)

申込
方法

住所を管轄するハローワークに職業相談のうえ、お申し込み下さい。
《ハローワーク連絡先》 那覇 098-916-6203、プラザ沖縄 098-939-8020
名護 0980-52-2886、宮古 0980-72-3329、八重山 0980-82-2327
※入校願書は、必ずハローワークに提出して下さい。

雇用保険受給手続きをされる方

令和7年9月22日(月)までにお手続き下さい。
この期限内に手続きを完了しない場合、訓練受講者に対する、
雇用保険給付の特別な措置を受けられない場合があります。

求職者支援制度対象者(特定求職者)の方

初回訓練相談締切日は令和7年8月22日(金)までです。
ハローワークでの訓練の相談・求職登録は必須事項です。
必ず行って下さい。(厳守)

訓練
期間

令和7年

令和8年

10月1日(水)～ 3月31日(火) (6ヶ月間)



Word
2019

Excel
2019

Power
Point
2019

① 初任者研修よりも上位の資格！

介護福祉業界の資格には、未経験でも取得できる「介護職員初任者研修」の他に「介護福祉士実務者研修」があります。

カリキュラムは、「介護職員初任者研修」より講義や演習の内容は幅広くなっています。
医療的ケアの知識も学び、修了するとサービス提供責任者としてヘルパーのリーダー的
な職種に就くこともできます。

「介護福祉士実務者研修」は「介護職員初任者研修」より上位の資格として位置づけ
られています。

② 国家試験を目指せる！

介護業界には介護福祉士という国家資格があります。

介護福祉士を受験するには実務経験3年以上と「介護福祉士実務者研修」の修了が必要
です。

③ Word (文書作成)、Excel (表計算)、PowerPoint (プレゼンテーション) も学べる！

経験豊富な専門講師からの丁寧な指導のもと初めての方でも、安心して講座を受講でき
ます。

訓練実施先

パソコン教室・介護教室、検定試験会場

株式会社 PC-ワールド

(0980)

(0980)

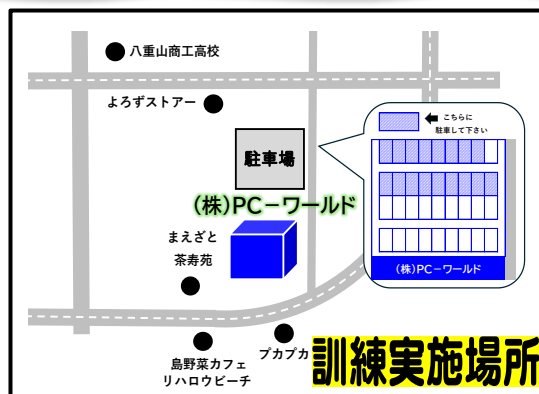
続きはWEBで！

検索

TEL 83-5098

FAX 87-7000

沖縄県立浦添職業能力開発校 TEL(098)879-2560



科名		介護福祉士実務者研修パソコン科（一般）		【訓練期間】 6ヶ月間 令和7年10月 1日（水）から 令和8年 3月31日（火）まで																																																																																																																																											
【募集対象】 知識・技能・技術を習得し再就職を希望する雇用保険受給資格者、または公共職業安定所（ハローワーク）に求職申込みをした方で、公共職業安定所長から当該訓練を受講することが必要と認められた方。				【訓練時間】 606時間／109日間 授業時間 9：00～14：15（15：10） 月～金（土日・祝日休み）（昼食時間1時間含む）																																																																																																																																											
【訓練目標】 介護従事者としての職業倫理と、幅広い知識・技能を修得する為に専門の講師からの確かな指導を受けることで、基本から応用までのスキルを身に付け、介護業界で活躍できる人材を育成する。				【定員】 15名 ※応募人数 10名に満たない際は開講しない場合もあります。																																																																																																																																											
【関連資格等】 介護福祉士実務者研修修了証				【訓練委託先】 株式会社PCワールド 【訓練実施場所】 〒907-0002 沖縄県石垣市字真栄里204番地381																																																																																																																																											
【訓練内容問合わせ先】 株式会社 PCワールド 〒907-0002 沖縄県石垣市字真栄里204番地381 TEL：（0980）83-5098 担当：本村				【選考方法】 面接 ※応募者が定員に満たない場合でも選考の結果により職業訓練を受講できない場合があります。																																																																																																																																											
【入校願書提出先】 所在地を管轄するハローワーク ※申込時に写真1枚（横3cm×縦4cm）が必要です。 ※ご提出いただいた入校願書（写真を含む）、その他の応募書類は返却できませんので予めご了承ください。 ※個人情報（入校願書）の取扱いについては、公共職業訓練に係る業務及び訓練委託先に提供されます。				【駐車場】 駐車場あり（無料） 【選考日時】 日付：令和7年9月3日（水） 時間：9：30～16：00迄 場所：株式会社PCワールド ※面接5分前までに集合（時間厳守） ※面接時間は応募者へ個別に電話連絡します。 ※試験当日マスク着用のご協力をお願いします なお、感染が疑われる症状や発熱（37.5度以上）のある方は、受験出来ません。																																																																																																																																											
【必要経費】 (1) 授業料は無料です。 (2) 入校時の必要経費として、教科書代が15,230円(税込)程度かかります (3) 職業訓練生総合保険に加入される場合は6ヶ月訓練4,900円(任意)が必要になります。（※納めた費用は返金不可となります。） ※沖縄県との契約をもって正式に開講が決定しますので、状況により開講しないことがあります。				【合格発表・伝達方法】 日付：令和7年9月22日（月） 時間：10：00～12：00迄 場所：株式会社PCワールド ※PCワールド内掲示板に掲示 ※合格者には入校手続き書類があります。																																																																																																																																											
… 9:00～9:45 (1時間) … 9:00～14:15 (5時間) … 9:00～15:10 (6時間) … ハローワーク 誘導日																																																																																																																																															
10月 日 月 火 水 木 金 土 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24 25 26 27 28 29 30 31 11月 日 月 火 水 木 金 土 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24 25 26 27 28 29 12月 日 月 火 水 木 金 土 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24 25 26 27 28 29 30 31 1月 日 月 火 水 木 金 土 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24 25 26 27 28 29 30 31 2月 日 月 火 水 木 金 土 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24 25 26 27 28 3月 日 月 火 水 木 金 土 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24 25 26 27 28 29 30 31 <tr><td colspan="4">【カリキュラムの概要】</td><td colspan="2"></td></tr> <tr><td rowspan="31">訓練の内容</td><td>方法</td><td>訓練科目</td><td colspan="2">訓練の内容</td><td>時間</td></tr> <tr><td rowspan="13">学</td><td>人間の尊厳と自立</td><td colspan="2">人間の尊厳と自立</td><td>12</td></tr> <tr><td>社会の理解Ⅰ</td><td colspan="2">介護保険制度</td><td>12</td></tr> <tr><td>社会の理解Ⅱ</td><td colspan="2">生活と福祉、社会保障制度、障害者自立支援制度、介護実践に関する諸制度</td><td>35</td></tr> <tr><td>介護の基本Ⅰ</td><td colspan="2">介護福祉士制度、尊厳の保持、自立に向けた介護の考え方と展開、介護福祉士の倫理</td><td>16</td></tr> <tr><td>介護の基本Ⅱ</td><td colspan="2">介護を必要とする人の生活の理解と支援、介護実践における連携、介護における安全の確保とリスクマネジメント、介護福祉士の安全</td><td>24</td></tr> <tr><td>コミュニケーション技術</td><td colspan="2">介護におけるコミュニケーション技術、介護場面における利用者・家族とのコミュニケーション、介護におけるチームのコミュニケーション</td><td>23</td></tr> <tr><td>介護過程Ⅰ</td><td colspan="2">介護過程の基礎的知識、介護過程の展開、介護過程とチームアプローチ</td><td>22</td></tr> <tr><td>発達と老化の理解Ⅰ</td><td colspan="2">老化に伴う心の変化と日常生活への影響、老化に伴うからだの変化と日常生活への影響</td><td>12</td></tr> <tr><td>発達と老化の理解Ⅱ</td><td colspan="2">人間の成長・発達、老年期の発達・成熟と心理、高齢者に多い症状・疾病等と留意点</td><td>23</td></tr> <tr><td>認知症の理解Ⅰ</td><td colspan="2">認知症ケアの理念、認知症による生活障害、心理・行動の特徴、認知症の人とのかかわり・支援の基本</td><td>12</td></tr> <tr><td>認知症の理解Ⅱ</td><td colspan="2">医学的側面から見た認知症の理解、認知症の人や家族への支援の実際</td><td>24</td></tr> <tr><td>障害の理解Ⅰ</td><td colspan="2">障害者福祉の理念、障害による生活障害、心理・行動の特徴、障害児者や家族へのかかわり・支援の基本</td><td>12</td></tr> <tr><td>障害の理解Ⅱ</td><td colspan="2">医学的側面から見た障害の理解、障害児者への支援の実際</td><td>23</td></tr> <tr><td rowspan="12">実技</td><td>医療的ケア</td><td colspan="2">医療的ケア実施の基礎、喀痰吸引（基礎的知識・実施手順）、経管栄養（基礎的知識・実施手順）</td><td>62</td></tr> <tr><td>こころとからだのしくみⅠ</td><td colspan="2">介護に関係した身体の仕事の基礎的な理解（移動・移乗、食事、入浴・清潔保持、排泄、着脱、整容、口腔清潔）</td><td>28</td></tr> <tr><td>振り返り（知識）</td><td colspan="2">振り返り、就業への備えと研修修了後における継続的な研修</td><td>6</td></tr> <tr><td>生活支援技術Ⅰ</td><td colspan="2">生活支援とICF、ボディメカニクスの活用、介護技術の基本（移動・移乗、食事、入浴・清潔保持、排泄、着脱、整容、口腔清潔、家事援助等）、環境整備、福祉用具の活用等の視点</td><td>24</td></tr> <tr><td>生活支援技術Ⅱ</td><td colspan="2">利用者の心身に合わせた介護、福祉用具等の活用、環境整備（移動・移乗、食事、入浴・清潔保持、排泄、着脱、整容、口腔清潔、睡眠、終末期の介護）</td><td>34</td></tr> <tr><td>介護過程Ⅱ</td><td colspan="2">利用者の状態（障害、要介護度、医療依存度、居住の場、家族の状況等）における事例、事例における介護過程の展開、観察のポイント、安全確保・事故防止、家族支援、他機関との連携考察</td><td>29</td></tr> <tr><td>介護過程Ⅲ</td><td colspan="2">利用者の特性に応じた介護過程の実践的展開と心身の状況などに応じた介護、福祉用具等の活用、環境整備、終末期の介護（移動・移乗、食事、入浴・清潔保持、排泄、着脱、整容、口腔清潔、睡眠、終末期の介護）</td><td>50</td></tr> <tr><td>こころとからだのしくみⅡ</td><td colspan="2">介護・連携等の留意点（移動・移乗、食事、入浴・清潔保持・排泄、着脱、整容、口腔清潔、睡眠、終末期の介護）</td><td>64</td></tr> <tr><td>医療的ケア演習</td><td colspan="2">喀痰吸引演習（口腔、鼻腔、気管カニューレ内部）、経管栄養演習（胃ろう、腸ろう、経鼻経管栄養）、救急蘇生法演習 ※シミュレータ装置による演習となります</td><td>12</td></tr> <tr><td>ビジネス文書作成実習</td><td colspan="2">表現力のある文書作成（社内・社外）回覧表、社内報、郵便、図形機能、便利な活用機能、画像処理、差し込み印刷、グラフ挿入、地図作成</td><td>10</td></tr> <tr><td>表計算データ処理実習</td><td colspan="2">表計算の概要、データ入力・編集、各種計算式、各種関数、データ加工、グラフ作成、データベース、見積書、納品書、請求書作成</td><td>10</td></tr> <tr><td>プレゼンテーション実習</td><td colspan="2">プレゼンテーション資料作成、プレゼンテーションのテクニック、プレゼンテーションの学習発表会</td><td>10</td></tr> <tr><td rowspan="2">就職支援</td><td>就職支援対策</td><td colspan="2">履歴書作成指導（6h）、職業相談（3h）、就職説明会や求人情報の提供</td><td>9</td></tr> <tr><td>職場見学</td><td colspan="2">福祉施設の見学による現場の業務理解、施設職員との懇談等を通じた就業イメージの深化</td><td>6</td></tr> <tr><td colspan="2">課外</td><td colspan="2">オリエンテーション</td><td>2</td></tr> <tr><td colspan="2">計</td><td colspan="4">総訓練時間606時間（学科346時間、実技243時間、就職支援15時間、課外2時間）※各種行事は、訓練時間に含まれません。</td></tr> <tr><td colspan="2">各種行事</td><td colspan="4">入校式・修了式</td></tr>				【カリキュラムの概要】						訓練の内容	方法	訓練科目	訓練の内容		時間	学	人間の尊厳と自立	人間の尊厳と自立		12	社会の理解Ⅰ	介護保険制度		12	社会の理解Ⅱ	生活と福祉、社会保障制度、障害者自立支援制度、介護実践に関する諸制度		35	介護の基本Ⅰ	介護福祉士制度、尊厳の保持、自立に向けた介護の考え方と展開、介護福祉士の倫理		16	介護の基本Ⅱ	介護を必要とする人の生活の理解と支援、介護実践における連携、介護における安全の確保とリスクマネジメント、介護福祉士の安全		24	コミュニケーション技術	介護におけるコミュニケーション技術、介護場面における利用者・家族とのコミュニケーション、介護におけるチームのコミュニケーション		23	介護過程Ⅰ	介護過程の基礎的知識、介護過程の展開、介護過程とチームアプローチ		22	発達と老化の理解Ⅰ	老化に伴う心の変化と日常生活への影響、老化に伴うからだの変化と日常生活への影響		12	発達と老化の理解Ⅱ	人間の成長・発達、老年期の発達・成熟と心理、高齢者に多い症状・疾病等と留意点		23	認知症の理解Ⅰ	認知症ケアの理念、認知症による生活障害、心理・行動の特徴、認知症の人とのかかわり・支援の基本		12	認知症の理解Ⅱ	医学的側面から見た認知症の理解、認知症の人や家族への支援の実際		24	障害の理解Ⅰ	障害者福祉の理念、障害による生活障害、心理・行動の特徴、障害児者や家族へのかかわり・支援の基本		12	障害の理解Ⅱ	医学的側面から見た障害の理解、障害児者への支援の実際		23	実技	医療的ケア	医療的ケア実施の基礎、喀痰吸引（基礎的知識・実施手順）、経管栄養（基礎的知識・実施手順）		62	こころとからだのしくみⅠ	介護に関係した身体の仕事の基礎的な理解（移動・移乗、食事、入浴・清潔保持、排泄、着脱、整容、口腔清潔）		28	振り返り（知識）	振り返り、就業への備えと研修修了後における継続的な研修		6	生活支援技術Ⅰ	生活支援とICF、ボディメカニクスの活用、介護技術の基本（移動・移乗、食事、入浴・清潔保持、排泄、着脱、整容、口腔清潔、家事援助等）、環境整備、福祉用具の活用等の視点		24	生活支援技術Ⅱ	利用者の心身に合わせた介護、福祉用具等の活用、環境整備（移動・移乗、食事、入浴・清潔保持、排泄、着脱、整容、口腔清潔、睡眠、終末期の介護）		34	介護過程Ⅱ	利用者の状態（障害、要介護度、医療依存度、居住の場、家族の状況等）における事例、事例における介護過程の展開、観察のポイント、安全確保・事故防止、家族支援、他機関との連携考察		29	介護過程Ⅲ	利用者の特性に応じた介護過程の実践的展開と心身の状況などに応じた介護、福祉用具等の活用、環境整備、終末期の介護（移動・移乗、食事、入浴・清潔保持、排泄、着脱、整容、口腔清潔、睡眠、終末期の介護）		50	こころとからだのしくみⅡ	介護・連携等の留意点（移動・移乗、食事、入浴・清潔保持・排泄、着脱、整容、口腔清潔、睡眠、終末期の介護）		64	医療的ケア演習	喀痰吸引演習（口腔、鼻腔、気管カニューレ内部）、経管栄養演習（胃ろう、腸ろう、経鼻経管栄養）、救急蘇生法演習 ※シミュレータ装置による演習となります		12	ビジネス文書作成実習	表現力のある文書作成（社内・社外）回覧表、社内報、郵便、図形機能、便利な活用機能、画像処理、差し込み印刷、グラフ挿入、地図作成		10	表計算データ処理実習	表計算の概要、データ入力・編集、各種計算式、各種関数、データ加工、グラフ作成、データベース、見積書、納品書、請求書作成		10	プレゼンテーション実習	プレゼンテーション資料作成、プレゼンテーションのテクニック、プレゼンテーションの学習発表会		10	就職支援	就職支援対策	履歴書作成指導（6h）、職業相談（3h）、就職説明会や求人情報の提供		9	職場見学	福祉施設の見学による現場の業務理解、施設職員との懇談等を通じた就業イメージの深化		6	課外		オリエンテーション		2	計		総訓練時間606時間（学科346時間、実技243時間、就職支援15時間、課外2時間）※各種行事は、訓練時間に含まれません。				各種行事		入校式・修了式			
【カリキュラムの概要】																																																																																																																																															
訓練の内容	方法	訓練科目	訓練の内容		時間																																																																																																																																										
	学	人間の尊厳と自立	人間の尊厳と自立		12																																																																																																																																										
		社会の理解Ⅰ	介護保険制度		12																																																																																																																																										
		社会の理解Ⅱ	生活と福祉、社会保障制度、障害者自立支援制度、介護実践に関する諸制度		35																																																																																																																																										
		介護の基本Ⅰ	介護福祉士制度、尊厳の保持、自立に向けた介護の考え方と展開、介護福祉士の倫理		16																																																																																																																																										
		介護の基本Ⅱ	介護を必要とする人の生活の理解と支援、介護実践における連携、介護における安全の確保とリスクマネジメント、介護福祉士の安全		24																																																																																																																																										
		コミュニケーション技術	介護におけるコミュニケーション技術、介護場面における利用者・家族とのコミュニケーション、介護におけるチームのコミュニケーション		23																																																																																																																																										
		介護過程Ⅰ	介護過程の基礎的知識、介護過程の展開、介護過程とチームアプローチ		22																																																																																																																																										
		発達と老化の理解Ⅰ	老化に伴う心の変化と日常生活への影響、老化に伴うからだの変化と日常生活への影響		12																																																																																																																																										
		発達と老化の理解Ⅱ	人間の成長・発達、老年期の発達・成熟と心理、高齢者に多い症状・疾病等と留意点		23																																																																																																																																										
		認知症の理解Ⅰ	認知症ケアの理念、認知症による生活障害、心理・行動の特徴、認知症の人とのかかわり・支援の基本		12																																																																																																																																										
		認知症の理解Ⅱ	医学的側面から見た認知症の理解、認知症の人や家族への支援の実際		24																																																																																																																																										
		障害の理解Ⅰ	障害者福祉の理念、障害による生活障害、心理・行動の特徴、障害児者や家族へのかかわり・支援の基本		12																																																																																																																																										
		障害の理解Ⅱ	医学的側面から見た障害の理解、障害児者への支援の実際		23																																																																																																																																										
	実技	医療的ケア	医療的ケア実施の基礎、喀痰吸引（基礎的知識・実施手順）、経管栄養（基礎的知識・実施手順）		62																																																																																																																																										
		こころとからだのしくみⅠ	介護に関係した身体の仕事の基礎的な理解（移動・移乗、食事、入浴・清潔保持、排泄、着脱、整容、口腔清潔）		28																																																																																																																																										
		振り返り（知識）	振り返り、就業への備えと研修修了後における継続的な研修		6																																																																																																																																										
		生活支援技術Ⅰ	生活支援とICF、ボディメカニクスの活用、介護技術の基本（移動・移乗、食事、入浴・清潔保持、排泄、着脱、整容、口腔清潔、家事援助等）、環境整備、福祉用具の活用等の視点		24																																																																																																																																										
		生活支援技術Ⅱ	利用者の心身に合わせた介護、福祉用具等の活用、環境整備（移動・移乗、食事、入浴・清潔保持、排泄、着脱、整容、口腔清潔、睡眠、終末期の介護）		34																																																																																																																																										
		介護過程Ⅱ	利用者の状態（障害、要介護度、医療依存度、居住の場、家族の状況等）における事例、事例における介護過程の展開、観察のポイント、安全確保・事故防止、家族支援、他機関との連携考察		29																																																																																																																																										
		介護過程Ⅲ	利用者の特性に応じた介護過程の実践的展開と心身の状況などに応じた介護、福祉用具等の活用、環境整備、終末期の介護（移動・移乗、食事、入浴・清潔保持、排泄、着脱、整容、口腔清潔、睡眠、終末期の介護）		50																																																																																																																																										
		こころとからだのしくみⅡ	介護・連携等の留意点（移動・移乗、食事、入浴・清潔保持・排泄、着脱、整容、口腔清潔、睡眠、終末期の介護）		64																																																																																																																																										
		医療的ケア演習	喀痰吸引演習（口腔、鼻腔、気管カニューレ内部）、経管栄養演習（胃ろう、腸ろう、経鼻経管栄養）、救急蘇生法演習 ※シミュレータ装置による演習となります		12																																																																																																																																										
		ビジネス文書作成実習	表現力のある文書作成（社内・社外）回覧表、社内報、郵便、図形機能、便利な活用機能、画像処理、差し込み印刷、グラフ挿入、地図作成		10																																																																																																																																										
		表計算データ処理実習	表計算の概要、データ入力・編集、各種計算式、各種関数、データ加工、グラフ作成、データベース、見積書、納品書、請求書作成		10																																																																																																																																										
		プレゼンテーション実習	プレゼンテーション資料作成、プレゼンテーションのテクニック、プレゼンテーションの学習発表会		10																																																																																																																																										
	就職支援	就職支援対策	履歴書作成指導（6h）、職業相談（3h）、就職説明会や求人情報の提供		9																																																																																																																																										
		職場見学	福祉施設の見学による現場の業務理解、施設職員との懇談等を通じた就業イメージの深化		6																																																																																																																																										
	課外		オリエンテーション		2																																																																																																																																										
	計		総訓練時間606時間（学科346時間、実技243時間、就職支援15時間、課外2時間）※各種行事は、訓練時間に含まれません。																																																																																																																																												
	各種行事		入校式・修了式																																																																																																																																												